

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	フリーター等支援事業	<b>担当部局庁</b>	職業安定局 派遣・有期労働対策部	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度	<b>担当課室</b>	企画課 若年者雇用対策室	若年者雇用対策室長 久知良俊二			
<b>会計区分</b>	一般会計・労働保険特別会計雇用勘定	<b>施策名</b>	IV31 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	雇用保険法第62条第1項第5号	<b>関係する計画、通知等</b>	新成長戦略、緊急経済対策、緊急雇用対策				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	不安定な就労を繰り返すフリーター等のうち正規雇用での就職を希望する者に対し、個別的な就職支援等を通じて正規雇用化を図る。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	就職支援ナビゲーターを各都道府県の若者の多いハローワーク等に配置し、スキルのない若年者に向き合い型による支援を実施するとともに、大都市圏においては、より若者の集約を図るため「わかものハローワーク」を設置(平成24年度においては3都府県に設置)する。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算				2,011	1,909
		補正予算					
		繰越し等					
		計				2,011	1,909
		執行額					
	執行率(%)						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	ハローワークにおけるフリーター等の正規雇用化数24万人以上	成果実績	人	-	-	-	240,000
		達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	支援対象新規登録者数 114万人以上	活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	1,140,000 ( - )
<b>単位当たりコスト</b>	-						-
<b>平成24・25年度予算内訳</b>	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	わかものハローワークの運営	1,997	1,885	わかものハローワークの設置における初期経費の予算額の減。			
	わかものハローワークの支援	14	24				
計	2,011	1,909					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の社会・経済を担うべき若年者をフリーターから離脱させ正規雇用化させることは極めて重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	将来を担う若年者の就職支援は極めて重要であり、就職支援のセーフティネットとして国が実施する必要がある。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	フリーター支援に当たっては、担当者制によるきめ細やか支援が有用である。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	24年度の成果実績等を踏まえ、今後、必要に応じ適切に見直しを図っていくこととする。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—	本事業は、フリーター（特に年長フリーター等）からの出口対策を徹底する必要があるため、就職支援ナビゲーターを各都道府県の若者の多いハローワーク等に再配置し、スキルのない若年者に向き合い型による支援を実施するとともに、大都市圏においては、より若者の集約を図るため「わかものハローワーク」を設置（平成24年度においては3都府県に設置）し、スキルのない若年者を中心に自分の将来にわたってのキャリア形成、能力開発等の必要がある35歳未満の若年者（主に20代）すべてを対象に支援を実施するための経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		—	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0